

播磨町歴史 NEWS

まちの発展と文化財にまつわる秘話などを歴史ニュースとして紹介します。

▶問合せ 播磨町郷土資料館 学芸員 渡辺昇 ☎079 (435) 5000

播磨町にもあった砲台—古宮台場跡—

「黒船あらわる」は当時日本の大きな話題だったこととされます。それによって江戸湾岸・伊豆半島をはじめ各地で防御施設が建てられることになりました。兵庫県でも海岸部に台場・砲台が多く築かれました。天保13(1842)年頃豊岡藩と久美浜代官所・出石藩による山陰海岸の台場をはじめとして順次構築されます。嘉永3(1850)年姫路藩によって家島天神鼻台場・室津台場を、嘉永6(1853)年には明石藩による舞子台場などが築かれます。その後も継続して各藩・幕府によって防御施設は増加し、近代になって陸軍に引き継がれます。兵庫県教育委員会の報告書によると記録などから96基が確認されています。

播磨町にも1基の台場が存在しました。古宮台場で姫路藩によって文久3(1863)年築かれました。播磨町は一部を除いて姫路藩領でしたが、藩領の東端に位置しています。現在は看板があるだけで、元の姿を残していません。今でこそ埋立地によって内海になっていますが、明石海峡の手前の重要な位置を占め、大阪湾防備の一端を担っていたと思われます。

この時期はアメリカでもペリー来航によって日本への意識が高くなっていました。昨年町指定された「イラストレイテッド・ニュース」の中ではジョセフ・ヒコら漂流者が紹介された以外に富士山や日本の景色が記されています。日本に対する好奇心によってジョセフ・ヒコがアメリカで勉学できた歴史的背景・大きな要因であったと思われる。

兵庫県下では西宮砲台(西宮市)・和田岬砲台・明石藩舞子台場(神戸市)・徳島藩松帆台場(淡路市)の4基が国史跡に指定されています。幕末の海岸防備の状況を観察する歴史資料として

ばかりでなく、社会教育施設として活用されています。大河ドラマなど歴史観光熱が高い時期は歴史ファン・歴女に限らず多くの方が足を運んでいます。



▲ジョセフ・ヒコ「漂流記」から



▲瓦版黒船来航(嘉永6年)郷土資料館蔵

播磨ふれあいの家だより

日帰りバス 朝来の秘境!?「黒川温泉 美人の湯」日帰り温泉へ

日を追うごとに寒さが増してきました。皆さま、お元気で過ごしてはいかがでしょうか?寒くなったら、やっぱり温泉に浸かって心も体も温ったまりたいですよ。

今回は天然温泉「黒川温泉 美人の湯」の日帰りバスのご案内です。

温泉好きな方におすすめです。ぜひ、ご参加ください。

▶出発日 12月1日(木)、5日(月)、13日(火)

▶費用 3,500円(昼食代、入浴料含む)

※最低催行人員10人。

▶行程

- 10:00 土山駅
- 10:10 播磨町役場~各コミセン
- 11:00 市川PA(トイレ休憩)
- 11:45 播磨ふれあいの家到着(受付、昼食)
- 12:30 播磨ふれあいの家出発
- 12:40 はりま焼き「播磨屋本店」到着
お土産などのお買いもの
- 13:00 出発
- 13:40 黒川温泉到着~入浴~
- 15:00 出発
- 16:30 →各コミセン→播磨町役場、土山駅到着

忘年会はお済みですか?

あったか〜い鍋料理でおしゃべりしませんか?

(税・サービス料込)

鍋料理アラカルト	料理代金	大人1泊2食の場合
黒毛和牛すきやき	5,400円	11,205円
黒毛和牛しゃぶしゃぶ	5,400円	11,205円
特選和牛すきやき	7,560円	13,365円
特選和牛しゃぶしゃぶ	7,560円	13,365円
かも鍋	4,320円	10,125円
寄せ鍋	4,860円	10,665円
ぼたん鍋	7,020円	12,825円
かにすき	8,100円	13,905円
かにすき&サイコロステーキ付	9,720円	15,525円

※平日は宿泊料金が500円割引になります。



▶申込み・問合せ 播磨ふれあいの家 ☎079 (678) 1481 朝来市多々良木1244-1

おおきく な〜れ



子育て支援センター

親子が共に育つ

大切な時間

この頃、子どもがぐずつたらスマートフォンを見せたり、ベビーカーを押しながらスマートフォンを見ている光景をよく見かけます。子どもの感性や情操を健やかに育むには、親子のスキンシップやアイコンタクト、五感をたっぷり使った体験が欠かせません。

授乳のときは、赤ちゃんやママの大事なコミュニケーションの時間です。授乳中はスマートフォンをいじったり、テレビを見たりするのは、控えたほうがいいですね。

親子が同じものに向き合っている時間は、親子が共に育つ大切な時間になります。

あやすと喜ぶようになってから、絵本を読んであげましょう。ママは、「なんで同じ本ばかり読むのかな」と思うことがあるかもしれませんが、次々と新しい本を読むのではなく、子どもが気に入った本を何度でも繰り返し読んであげることが大切です。読み聞かせのポイントには、次のとおりです。

- ・絵本に書かれた文字を読むのではなく、絵から読み取れることを、「おいしそうなお菓子だね」「うさぎさん、なにしているのかな」など言葉にして話しかけてあげましょう。
- ・乳幼児は、同じことの繰り返し返しが大好きです。また、お気に入りのページを何度も眺めたり、ページを次々めくったりします。その子どものペースで絵本を楽しみましょう。
- ・ママのひざに座らせたり、横に座ったり、同じ向きで一緒に絵本を見ながら、気持ちをあらわす言葉を心に蓄えてあげましょう。